

左衛門は出入りの消防夫
山岡君の心づくしも水の泡
官軍が近き内に上野を攻撃する
かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井
宰輔、春日左衛門を隊長と
してその兵三百人、又山王臺には大砲を据えつけて近
藤武雄、新井継太郎に指揮
をとらせ兵數三百人、谷中
門は織田主膳指揮官として
弓隊の兵三百人を添へ、そ
の他の門々にはそれより指
揮官を置いて兵をくばつた
しかして天野八郎は自ら三百人を率いてこれは游軍と
して苦戦の場所を救うこと
やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮

をとらせ兵數三百人、谷中

門は織田主膳指揮官として

弓隊の兵三百人を添へ、そ

の他の門々にはそれより指

揮官を置いて兵をくばつた

しかして天野八郎は自ら三

百人を率いてこれは游軍と

して苦戦の場所を救うこと

やうと決心した。

スルト上野山下の商人家

に近々戦が始まるからその用意をいたせ、また女子供

は今のが立退かせよと

彰義隊より達した、その時

に廣小路の薬種問屋井口平

左衛門は出入りの消防夫

血を見るか明日は血を流す

平「さうだ、義隊のため

山岡君の心づくしも水の泡

官軍が近き内に上野を攻撃する

かためてはゐたが一層嚴重に警戒させる、黒門は酒井

宰輔、春日左衛門を隊長と

してその兵三百人、又山王

臺には大砲を据えつけて近

藤武雄、新井継太郎に指揮</p